

シンクロ跳び箱マット・サイドアタックサッカー ～合意形成に重点を置いて～

令和2年度

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

<シンクロ跳び箱マット>

2年生から6年生の三学期の体育は、二学期に履修した跳び箱運動とマット運動を生かして、4人のグループで発表会を行うようにしました。自分たちが学習したことをもとにグループで意見を出し合って演技を構成し、練習していく学習です。またシンクロなので、「合わせる」というところにもこだわり、曲に合わせて演技するようにしました。曲については担任の先生と相談し下記のとおりになりました。

学年	2年	3, 4年	5, 6年
曲（サビのみ）	・紅蓮花（LISA）	・ワイルド アット ハート（嵐） ・千本桜（初音ミク） ・夜に駆ける（YOASOBI） からの選択	・夜に駆ける（Y O A S O B I） ・星影のエール（Greeen） ・MAKE YOU HAPPY（Niziyu） からの選択か 自分たちで準備した曲

そして岩崎がこだわっているもう一つの「合わせる」は合意形成です。なぜ合意形成にこだわるかという、今の子どもたちは20年後、30年後は想像のつかない世界で生きていかなければならないことが予想されます。ひと昔前のように、人より秀でた知識や技能があれば役に立つ世の中だとは言いきれません。そのような中、多種多様な人と社会の変化に対応していくには、合意形成する力が必要と思われるからです。ちなみに合意形成という意味を確認しますと下記のように記されています。

合意形成（ごういけいせい）

合意形成（consensus building）とは、ステークホルダー（多様な利害関係者）の意見の一致を図ること。特に議論などを通じて、関係者の根底にある多様な価値を顕在化させ、意思決定において相互の意見の一致を図る過程のことをいう。コンセンサスともいう。

出典：Wikipedia

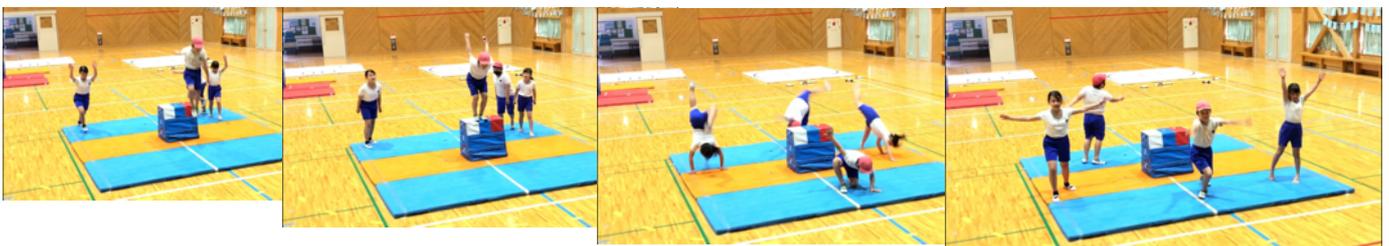


頭、身体に心を使いながら、グループで演技を合意形成していく子どもたち

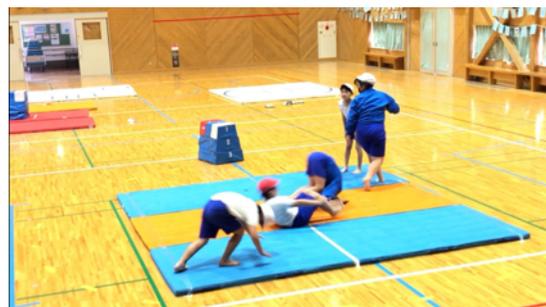


今回はどのグループも円滑に話し合いができていたので、演技の構成には一言もアドバイスしませんでした

発表会が近づくと、子どもたちの気持ちもヒートアップ！



跳び箱をジャンプ台にして技を「合させた」チーム (教えた覚えがありません)



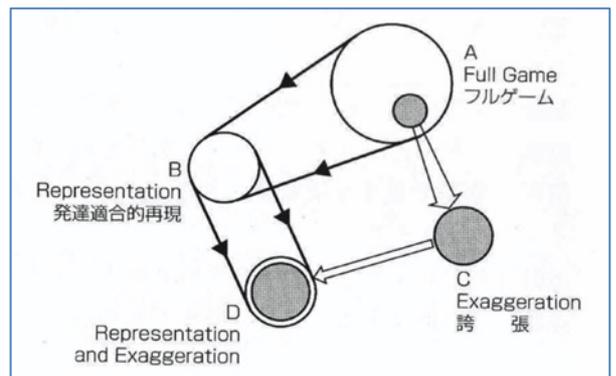
履修した台上前転を音楽に「合させた」チームと、前転のずれを「合させた」チーム

一つの技として運動文化を正しく教え継承していくやり方も大切かもしれませんが、今回のように子どもも授業者も学びや発見の多い授業は、やっっていて最高に楽しいです。

<サイドアタックサッカー>

一学期は未知数の新型コロナウイルス感染症に対応して、ゴール型の「ボール運び鬼」をしましたが、三学期は卒業する6年生のことも考え、既成のスポーツに近いものを学習して送り出したいと考えています。その第一段はサッカーです。

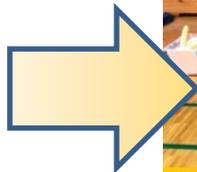
サッカーは足で物を扱うという非日常的な行為を技能の中心にするため、サッカーを習っていたり、サッカーでいつも遊んでいたりとそうでない子の間にはかなりの技能差があり、7, 8時間で行う体育授業では教材化する工夫がとても重要です。右の図は「ゲーム修正の論理」(ソープラ: 1986) ですが、今回はサッカーの中の「パス」学習指導要領でいう「ボールを持たない時の動き」に特化して教材を準備しました。また数年前に岩手大学の清水将先生が



「ゲーム修正の論理」(ソープラ: 1986) ですが、今回はサッカーの中の「パス」学習指導要領でいう「ボールを持たない時の動き」に特化して教材を準備しました。また数年前に岩手大学の清水将先生が

ら教えてもらったことですが、ボールが前後、左右、上下に自由に動くとなると、子どもは身につけるべき技能も身につかず、考えた作戦が検証できないことも多くなるため、私はボールの動きを3D から2D になるようにしたいと考えます。そのため、既製のボールは使わず、前後、左右だけ動く手作りのフットビーを使うことにしました。

<既製のサッカーボール>



<手作りのフットビー>



ボールの動きが

前後、左右、上下、スピード◎

前後、左右、~~上下~~、スピード~~◎~~→△

大まかなルールは、中津市立大幡小学校で私と同じく体育専科教員をされている藤原昭治先生が実践されたサイドアタックサッカーをもとに授業を進めました。小さなコートですが、プレイエリアをビブス毎に指定し、パスを中心に楽しむゲームです。



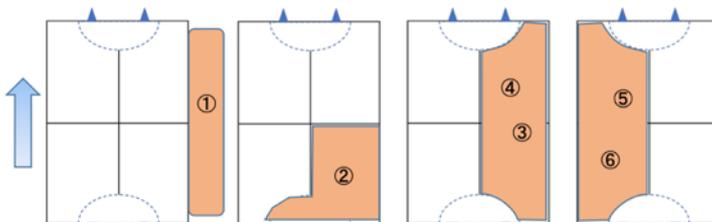
①のサイドアタッカーがセンターリング



⑤の左ウイングがトラップ



★サイドアタックサッカーのポジション



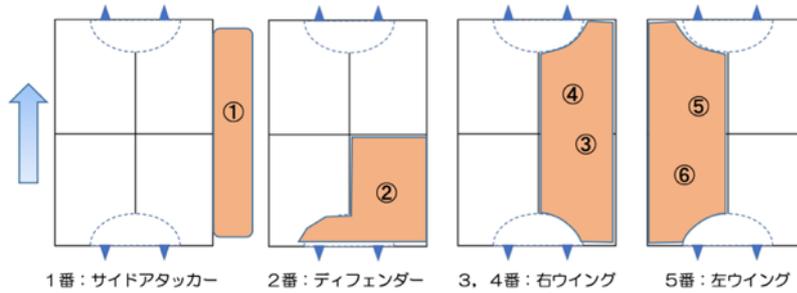
1番: サイドアタッカー 2番: ディフェンダー 3, 4番: 右ウイング 5番: 左ウイング



役割があり、みんなが参加できるゲームのため、作戦会議も活発になる
(作戦の合意形成)

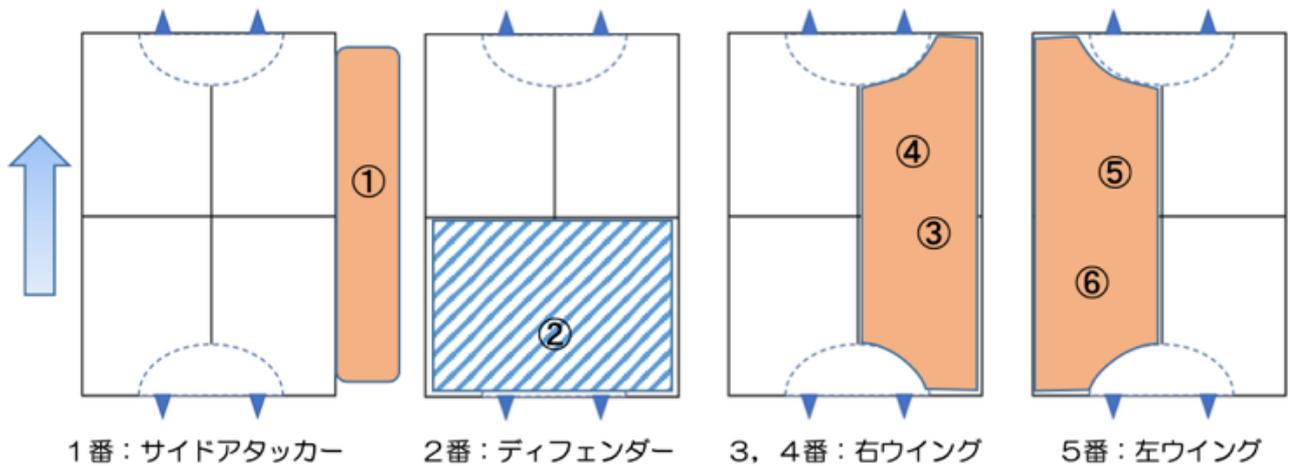


⑤がそのままのサイドアタックサッカーのポジション



最初のルール

授業の中でルールも変容
(学級全体での合意形成)



後半のルール



サイドアタックサッカーは感染症対策の視点から見ても「密になりにくい」
バドミントンコートの3面の本校体育館は、人が分散しているものの、いつも熱気に包まれています

※体育館入館時、退館時の手指消毒、供用教具の消毒も徹底しています